

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成25年 4月26日現在

機関番号：32675

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2010～2012

課題番号：22330221

研究課題名（和文） フランスにおけるキャリア教育を通じた社会統合と公教育の再構築に関する総合的研究

研究課題名（英文） Study on the reconstruction of the social integration and public education in France through 'career education'

研究代表者

古沢 常雄（FURUSAWA TSUNEO）

法政大学・キャリアデザイン学部・名誉教授

研究者番号：30061211

研究成果の概要（和文）：本研究は、学業失敗や無資格離学、失業など我が国と共通の様々な教育問題を抱えるフランスにおいて、社会統合と公教育の再構築に向けた「キャリア教育」の取り組みがどのように行われているかを、全教育段階を対象に総合的に明らかにした。フランスでは、我が国の「キャリア教育」（英語の Career Education）に相当する概念はほとんど用いられていないが、先進諸国においてキャリア教育が必要とされる社会的背景を共有しており、フランスにおいて「キャリア教育」と呼びうる様々な教育活動が義務教育、後期中等教育及び社会教育・継続教育の分野でどのように実際に展開されているのかを総合的に明らかにした。

研究成果の概要（英文）：This study clarified the efforts toward 'career education' to reconstruct the social integration and public education in France who encounters difficulties such as unemployment and "échec scolaire", leaving school without any qualification and unemployment. Japan has the same problems as in France. In France, there is no notion on 'career education' as is used in Japan. But France shares the same social setting as in advanced countries where needs career education and practices in advanced countries.

We found that various educational activities in France were accounted as 'career education' in the fields of concrete educational remedies in the compulsory education, upper secondary education, social education and life long education.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	5,100,000	1,530,000	6,630,000
2011年度	4,600,000	1,380,000	5,980,000
2012年度	4,800,000	1,440,000	6,240,000
年度			
年度			
総計	14,500,000	4,350,000	18,850,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：教育学・教育学

キーワード：(1)教育政策 (2)キャリア教育 (3)フランス (4)進路指導 (5)就職支援

1. 研究開始当初の背景

フランスでは、我が国の「キャリア教育」（英語の Career Education）に相当する概念はほとんど用いられていないが、先進諸国に

おいてキャリア教育が必要とされる社会的背景を共有しており、個別具体の教育改善策において「キャリア教育」と呼びうる様々な教育活動を見出すことができる。こうした教

育活動がフランスにおいてどのように実際に展開されているのかを総合的に明らかにする。

2. 研究の目的

フランスにおける教育政策・教育実践・教育活動等を具体的に分析し、フランスの「キャリア教育」を見出す。

3. 研究の方法

(1) 研究会を年3回程度開催し、課題に関する各自の分担研究計画や研究進捗状況を報告し合う。

(2) 調査・研究内容は以下の通り。

- ①義務教育におけるキャリア教育の調査研究
- ②高等教育におけるキャリア教育の調査研究
- ③義務教育及び後期中等教育におけるキャリア教育の調査研究
- ④特別支援教育におけるキャリア教育の調査研究

(3) フランスの学校や進路指導機関等の関係諸機関を訪問し、義務教育、後期中等教育及び社会教育・継続教育における「キャリア教育」について調査する。

4. 研究成果

本来、キャリア *career* とは、古代ローマで、馬車が通った後にできる轍（わだち）を意味した。それが転じて人間の職歴・経歴を意味するようになった。今日、日本で、「キャリア」の語が多用されている。その一つに、企業内で人員削減を目論む場合に、「新しい職場」への配属と称して結局は退職に追い込む「キャリア開拓グループ」などという名の、不当な処遇の追い出し部屋（部局）の名に使用されている。あるいは、就職に際し、企業に気に入られる職業能力を身につけることを指すようにもなっている。

新自由主義経済機構の中では、キャリアガイダンスには二つの見方がある。一つは、求職者の希望、能力と要求を大事にする求職者の権利であり、もう一つは、労働市場における労働者の活動化戦略のため、労働者の労働力を監視し、監督することでもある。キャリアデザインは、この機構との関係を抜きにして構想することはできない。

研究会では、こうしたキャリアデザインの、社会との関係・位置づけを意識しながら研究に取り組んできた。

障害児・者のキャリアデザイン教育を、社会に生きる権利（生存権）保障、幸福になる権利との関係においてフランスの実情を探った－フランスの障害児教育全般および

パリ国立聾学院の場合－。

初等・中等教育機関におけるキャリアデザイン教育については、現在のフランスが抱える学力格差や中途退学の実態を分析するとともに、これらの問題（教育課題）に対するフランス国内の教育行政の取り組みを明らかにし、さらに、生徒の主権者意識・態度・行動の育成（市民性教育〔*Education à la citoyenneté*〕・市民的イニシアチブ〔*les initiatives citoyennes*〕）の内容・方法を分析した。

日本では社会教育の分野に分類される、広く社会で展開される学習・文化・余暇・野外活動など「アニメーション（*animation*）」と呼ばれる一大教育領域とその制度があり、その指導に当たるアニメーター（*animateur*）と呼ばれる20万人以上の専門指導員がいるが、その指導員たちのキャリアデザイン教育について調査した。

高等教育にあつては、旧パリ第12大学の学業学生生活局内で、職業参入率に関する聞き取り調査（常勤職員3名との対話）を行った。

研究会メンバーは、以下の論文・報告・法規（訳・解説）を、A4判222頁の報告書に作成し、研究のまとめとした。

- ・教育の課題としてキャリア教育を考える
 - ・フランスと欧州のキャリアガイダンス
 - ・パリ郊外の学校訪問報告
 - ・ZEPとキャリア教育
 - ・障害児・者のキャリア保障について
 - ・障害をもった児童生徒のキャリア教育－パリ国立聾学院の場合－
 - ・市民性の育成を通して基礎的な職業意識を育むキャリア教育－前期中等教育課程における生徒の社会化と職業意識形成について－
 - ・フランスにおける中途退学者にみる進路指導－*Racochage*に向けた取り組み－
 - ・フランスにおける学士課程教育の再構築に向けた取組
 - ・大学における職業専門化と調査・統計管轄部局の機能に関する一考察
 - ・フランスのアニメーション領域における人材養成とその教育的意義－アニメーター職適性証（*BAFA*）の検討を中心に
 - ・フランスにおける上級司書のキャリア形成
- <資料紹介>－訳と解説－
- ・生涯職業指導に関する報告「生涯職業指導の発展」（2009年12月）をめぐって－2000年以降の職業指導をめぐる状況と政府の政策－
 - ・フランスの教育高等審議会報告書「学校の進路指導」（2008年）
 - ・フランス教育法典中のキャリア教育関連条文

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計5件)

- ① 岩崎久美子「フランスの高等教育改革における博士教育への取り組みについて」『国立教育政策研究所紀要』第115号、2012年、185～195頁。
- ② 古沢常雄「19世紀末～20世紀初頭における日本とベトナムとの『文明開化』の比較研究—植民地下ベトナムにおけるフランスによる「文明開化」」『法政大学キャリアデザイン学部紀要』第9号、2012年、11～30頁。
- ③ 池田賢市「フランスにおけるインクルーシブ教育の制度と問題点」中央大学教育学研究会『教育学論集』第53集、2011年、1～24頁。
- ④ 堀内達夫「リセのカリキュラム改訂2010-2012年」『教育学論集』大阪市立大学、第37号、2011年、52～55頁。
- ⑤ 夏目達也「フランスの大学院教育改革における大学院在籍者組織の役割」『フランス教育学会紀要』第22号、2010年、87～100頁。

[学会発表] (計6件)

- ① 岩橋恵子「フランス・アニマトゥールの「適性 (aptitude)」と「専門職性 professionnalisme」養成の特質」(日本社会教育学会、2011年9月17日、日本女子大学)
- ② 堀内達夫、大津尚志、細尾萌子、降旗直子「学校基本計画法以降における中等教育・職業教育カリキュラム開発の動向—エクス・マルセイユ大学区の事例」(フランス教育学会、2011年9月11日、武庫川女子大学)
- ③ 上原秀一「フランスにおける学力観を日本から問い直す—政策・制度的観点から」(フランス教育学会、2011年9月10日、武庫川女子大学)
- ④ 岩橋恵子「フランス・アニマトゥール(社会教育関係職員)の資格・養成の刷新と課題」(九州教育学会、2010年12月12日、九州大学)
- ⑤ 上原秀一「フランスにおける中学校卒業認定試験の展開と課題」(日本比較教育学会、2010年6月27日、神戸大学)
- ⑥ 岩崎久美子「教育におけるエビデンスに基づく政策—新たな展開と課題」(日本評価学会、2010年6月19日、政策研究大学院大学)

[図書] (計5件)

- ① 園山大祐『学校選択のパラドックス』勁草書房、2012年、240頁。
- ② 文部科学省『諸外国の教育動向 2010年度版』明石書店、2011年、356頁。(小島佳子・執筆担当)
- ③ ドミニック・グルー、ルイ・ポルシェ、園山大祐『比較教育』文教大学出版事業部、2011年、190頁。
- ④ 伊藤一雄、佐藤史人、堀内達夫『キャリア教育と職業指導』法律文化社、2011年、169頁。
- ⑤ 岩崎久美子「社会的・経済的環境の変化に応じたキャリア教育の視点」、立田慶裕『学校教員の現代的課題—教師力・学校力・実践力』法律文化社、2010年、218頁。(執筆：第5章2)

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

○取得状況 (計0件)

[その他]

なし

6. 研究組織

(1) 研究代表者

古沢 常雄 (FURUSAWA TSUNEO)
法政大学・キャリアデザイン学部・名誉教授
研究者番号：30061211

(2) 研究分担者

池田 賢市 (IKEDA KENICHI)
中央大学・文学部・教授
研究者番号：40222880

板倉 裕治 (ITAKURA YUJI)
立教大学・文学部・教授
研究者番号：60318681

岩崎 久美子 (IWASAKI KUMIKO)
国立教育政策研究所・生涯学習政策研究部・総括研究官
研究者番号：10259989

岩橋 恵子 (IWAHASHI KEIKO)
志學館大学・法学部・教授
研究者番号：70248649

上原 秀一 (UEHARA SHUICHI)
宇都宮大学・教育学部・准教授
研究者番号：70515965

小林 純子 (KOBAYASHI SUMIKO)
南山大学・外国語学部・講師
研究者番号：00611534

園山 大祐 (SONOYAMA DAISUKE)
大阪大学・人間科学研究科・准教授
研究者番号：80315308

高津 芳則 (TAKATSU YOSHINORI)
大阪経済大学・人間科学部・教授
研究者番号：90206772

高橋 洋行 (TAKAHASHI YOUKOU)
松山東雲短期大学・保育科・講師
研究者番号：90593616

夏目 達也 (NATSUME TATSUYA)
名古屋大学・高等教育研究センター・教授
研究者番号：10281859

藤井 穂高 (FUJII HODAKA)
東京学芸大学・教育学研究科・准教授
研究者番号：50238531

堀内 達夫 (HORIUCHI TATSUO)
大阪市立大学・文学研究科・教授
研究者番号：40135273

(3) 連携研究者

小野田 正利 (ONODA MASATOSHI)
大阪大学・人間科学研究科・教授
研究者番号：60169349

藤井 佐知子 (FUJII SACHIKO)
宇都宮大学・教育学部・教授
研究者番号：50186722

小澤 浩明
東洋大学・社会学部・教授
研究者番号：60288438

(4) 研究協力者

小島 佳子 (KOJIMA YOSHIKO)
文部科学省生涯学習政策局調査企画課専門職
研究者番号：なし